

図書館 だより

泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつばやき
 図書館に座布団を持って落語を
 聞きに行こう！
 コスモス



新着・お薦め図書

泗水図書館
 何が困るかって
 波止場浪漫
 いのちの姿
 図書館奇譚
 里の時間
 ホームレス農園
 走れ！移動図書館
 十二支のどうぶつ小断

坂木 司 著
 諸田玲子 著
 宮本 輝 著
 村上春樹 著
 芥川 仁 著
 小島希世子 著
 鎌倉幸子 著
 川端 誠 著

中央公民館
 日本茶の図鑑
 熊本あるある
 嫉妬のお作法
 ライアー
 迎え猫
 職員室の日曜日
 あのね…

白本茶業中央会 監修
 木山直子 著
 川村佳子 著
 大沢在昌 著
 輪渡颯介 著
 村上しいこ 著
 エマ・ドッド 文・絵

七城公民館図書室
 においのカゴ
 還暦少年
 星と星座をみつけよう
 さいごの一葉

石井桃子 著
 平山 譲 著
 森 雅之 著
 いもとようこ 文・絵

旭志公民館図書室
 GOSICK BLUE
 フランス人は10着しか服を持たない
 4ひきのりっぱなこぐま
 テラプト先生がいるから

桜庭一樹 著
 ジェニファー・スコット 著
 アーノルド・ローベル 著
 ロブ・ブイエー 著

雑誌の付録抽選会!

とき ① 2月6日(金)~20日(金)
 ② 2月21日(土)~3月7日(土)
 ところ 中央公民館図書室

抽選要件
 それぞれの期間で5冊以上借りて、合計10冊以上
 になれば1人1回くじが引けます。中央公民館図書
 室で本を借りて、そのレシートを持って抽選会にご
 参加ください！
 くじには限りがあります。なくなり次第終了とな
 りますので、ご了承ください。

雑誌の付録

※景品の引換期間 3月8日(日)~15日(日)

耳より情報

落語を楽しもう!

とき 2月14日(土) 午後1時30分~3時
 ところ 泗水図書館
 定員 40人(参加無料) ※先着順



“ざぶとん”を
 持ってきてね!
 東京大学出身の落語家・春風亭
 昇吉さんをお招きします。
 詳しくは館内チラシまたは図書
 館ホームページをご覧ください。

リサイクル本を配布します

とき 2月14日(土) 午前10時~
 ※なくなり次第終了
 ところ 菊池市文化会館小ホール

同日開催!
 生涯学習
 フェスティバル

図書館(室)で使用できなくなった本や雑誌のバックナン
 パーをリサイクル本として無料配布します。本を入れる袋
 やバッグはお持ちください。
 ※当日は中央公民館駐車場の混雑が予想されます。
 ご迷惑をおかけしますが予めご了承ください。

万句の里俳句会 12月例会
 寒風に悲喜交々の絵馬ゆらく 小山 照子
 黄落を踏みしめてゆく奥の宮 田中 美智
 山茶花や明日なき如く散りてをり 丸山美代子
 初鴨の湧水の輪を乱しけり 岩木 敬治
 素直なる水の如くに石路の花 隈部 輝子
 せせらぎ俳句会 12月例会
 羽子板を選び選んで藤娘 服部 静子
 お隣に一言詫びて落葉掃く 藤本アツ子
 街中を携帯が歩く歳の暮 五丁 義昭
 老の身に捨猫悲し霜の朝 村山 教恵
 四肢五体軋み続けの師走かな 藤本 邦治
 旭志文芸教室俳句の会 12月詠草
 ペダル漕ぐ部活の子らや息白し 芹川のり子
 切干の笹移動させ陽を貰う 中尾ヨシコ
 畑帰りに釣瓶落としの夕厨 芹川 蓉子

いそいそと沢庵持ちて姉来たる 水谷 ミネ
 肥後狂句桜会 12月例会
 やめとかし 再婚サギじゃなかつか 田中 孝幸
 な 山歩き 足腰はまだ大丈夫 田中レイ子
 この上なし トンビが鷹の子が自慢 高木 房恵
 山歩き 街より派手な山ガール 高倉 新米
 気の早さ 歩きじゃあたらストライ 辻 弘喜
 肥後狂句水笑会 12月例会
 面倒さ 豆揃えにと眼鏡かえ 御手洗三代
 同窓会 あの雫さんな誰だろか 平井 江彩
 大掃除 明日明日じゃまにあわん 中島 五女
 年の暮れ 飲み屋の掛けの残つとる 吉岡 三水
 大売り出し 親父の背中貼つところか 柏原 乗仏
 七城短歌会 12月詠草
 我連れて昼間にバッグを買いくれし 高木 精
 嫁は更けし夜花束ねをり

観てまわる菊にひと枝蟻螂が次代を
 託す卵産みいし 緒方 正俊
 霜予報聞いてあたふた軒下の鉢のく
 んしらん屋内に運ぶ 緒方 寛子
 施設なる芝生に何千露の玉朝の日に
 受け七色にひかる 岩崎 照代
 涙み覗けば鯉が群れなす 嶋田 晴美
 高齡者大学文芸部 12月歌会
 咲き初めし庭の山茶花われ呼ぶや極
 まるピンク冬ざれ包む 岩木タエ子
 軽井沢水面に浮かぶ紅葉の朱青黄色
 ゆらゆら揺れる 田中 遙子
 もみじ葉の裾野広がる御岳の一峰の
 噴火灰に覆わる 岩根 博恵
 前庭の樹齢百年守り檉霜月の朝小さ
 き実の落つ 北村 玉恵
 樹下陰動くものありそつと見る小さ
 き小鳥三十三才飛ぶ 安東 綾子
 菊池短歌会 1月詠草
 笑ふ声泣く声去りて正月の大がめに
 咲く百合のくれなゐ 安藤 則子
 高空に月影冴えて冷えびえと晩鐘ひ
 くく枯野を渡る 岩永 典子
 少ないが支援するなり「国境なき医
 師団」われの希望の灯なれば 古賀 勝士



遠阿蘇の噴煙高く上る空神さぶ怒り
 うつしみにして 中川 愛子
 蒸し器より噴く湯気しろき家の朝て
 のひら熱くもむ歳の餅 中原ちえ子

文芸 きくち